

2月 全身の力を込めて綱を引く

4日 綱引き大会を開催



▲全体重をかけ、懸命な表情で綱を引き合う選手たち

第13回 菰野町民綱引き大会が町体育センターで開催され、男子の部4チーム、女子の部1チームの男女合計50人が参加しました。試合はトーナメント戦で行われ、大人同士の気迫あふれる綱の引き合いの中、好勝負が繰り広げられていました。

2月 男女共同参画推進事業として開催

10日 のり弁アートワークショップ



▲海苔を切り抜いて作ったこもしかを慎重に弁当へと運ぶ講師の内田さん

のりをクラフトカッターで切り抜き弁当のご飯の上にのせる「のり弁アート」のワークショップを役場本庁で開催しました。今回、講師を務めた内田直人さん（小島）は、長女のお弁当作りをきっかけに漫画やアニメのキャラクターなどを海苔などで表現し、制作したのり弁をSNSで公開することで話題になっています。今回のワークショップには親子13人が参加し、集中した表情で型紙に沿って海苔を切り抜いていました。



永年の功績を称えて

高齢者叙勲

瑞宝双光章 寺本勝三さん

(88歳 川北区 元県病害虫防除所副参事兼次長)

1月 児童たちが障がい者スポーツの理解を深める

22日 ボッチャの出前授業を実施



▲スポーツ推進委員の指導のもと、ボールを投げて競技する児童たち

スポーツ推進委員が竹永小学校へ出向き、小学3年生を対象にボッチャの出前授業を行いました。これは、国語の教材にある「パラリンピックが目指すもの」に関連して、ボッチャを児童たちが実際に競技し、障がい者スポーツの理解を深めるために実施したものです。児童たちは、ルールを学んだ後、実際に試合を行い、一喜一憂しながら赤と青のボールを投げ、競技を楽しみながら理解を深めていました。

1月 実際に触れて郷土資料を学ぶ

中 移動郷土資料館を開催



▲民具に触れながら使い方を班別に話し合う児童たち

郷土教育の一環として、菰野町が保管している民具や農具などの郷土資料を各小学校に持ち込んで学習する移動郷土資料館を菰野、鶴川原、竹永小学校で開催しました。授業では、学芸員から昔の生活の仕方について解説を聞いた後、児童たちはたらい、洗濯板、炭火アイロンなどに実際に触れながら見たことがない道具を班別で調べ、特徴や使い方などを考えていました。



第17回美し国三重市町対抗駅伝

総合 5位 町の部 優勝



RESULT
2時間21分13秒

町の部で悲願の優勝奪還

第17回

17回美し国三重市町対抗駅伝が2月18日に開催され、菰野町チームが出場しました。この駅伝は津市から伊勢市までの42・195キロメートルのコースを小学生から大人まで10人の選手がタスキをつなぐ大会です。菰野町チームは1区の伊藤選手が町の部トップでタスキをつないだものの、その後は川越町に順位を譲る展開となりましたが、今大会で現役引退となる8区の藤田選手が圧巻の快走で巻き返し、最後はアンカーの坂田選手が川越町を逆転し、町の部優勝、総合5位の結果に輝きました。前回町の部準優勝の悔しい結果を糧に、昨年7月から行ってきた練習の成果を十分に発揮してくれました。



1区間賞の走りゴールした菰野町チームの絶対的エース坂田選手2区スタート直後、トップ集団で駆け抜けた1区の伊藤選手3区他市町の選手と競り合う3区の新里選手4区第2回大会から全ての大会に出場し全14回の出場の中で数々の記録を打ち立てた藤田選手のラストラン5区全員で繋いできたタスキを坂田選手に托す9区の村上選手

菰野町チーム 監督 山口徳之さん

INTERVIEW

自分の力を出し切るだけで考えて、力強くタスキを繋いでいてほしいと選手たちには伝えていました。小中学生も大舞台に臆することなく堂々と走っていたと思います。後半までもつれ込むレース展開は予想していましたが、頼もしい選手たちが控えていたので、勝ち切ることができました。何よりも第2回大会からこの大会に出場して菰野町チームにこれまで大きく貢献し、今大会で現役生活を終える第8区を走った藤田選手に最大の賛辞を贈りたいです。

コミュニティ振興課
TEL 391-1160
FAX 328-5995